



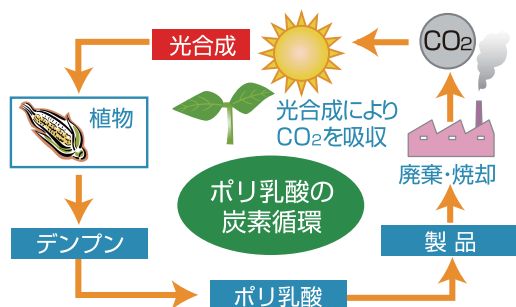
環境にやさしい「ECO&Bバイオプラスチックプロダクト」で環境ビジネスを展開

NTTネオメイトは、CO₂削減に効果的な植物由来のプラスチック（バイオプラスチック）を使用した事務用品やノベルティー等の企画・開発・販売を行い、NTTグループ各社における環境保護活動の一端を担っています。

地球の温暖化抑制や環境保護に向けた活動が世界的に活発になりつつある中、NTTネオメイトは、「CO₂削減」や「化石資源の枯渇対策」に効果的なバイオプラスチックを使用した事務用品、ノベルティー等を企画・開発し、自社内で使用するとともに、NTTグループ会社や環境保護活動を推進する企業へ販売を行っています。

バイオプラスチックは、原料に石油を使用しない為、限りある化石燃料の枯渇防止につながるほか、製造時、焼却時に発生するCO₂は、もともと原料となる植物が育つ際に、光合成により吸着したCO₂とほぼ同じ量で、地球上に新たなCO₂を増やしません（カーボンニュートラル）（図1）。また、燃やしても有害ガスを発生しません。

図1 地球上に新たなCO₂を増やさないカーボンニュートラル



NTTネオメイトはこれまで30種類以上の地球環境にやさしい商品を開発しています。テルウェル西日本と連携して提供しているバイオプラスチック樹脂を使用したお箸は、NTT西日本エリアの多くの食堂で継続して利用されており、その数34,000膳を超えました。（写真1）

写真1 30種類を超えるラインナップ



バイオプラスチックプロダクト

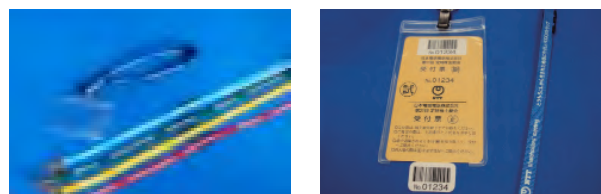
水切りネットBOXタイプ

クリアファイル

バイオプラスチック樹脂箸

NTTグループでは、「ECO&B」の環境にやさしいネクストラップを、グループ各社で利用するとともに、NTT株主総会で株主様が「受付票」を入れるネクストラップにも毎年採用しています。（写真2）

写真2 ネックストラップ・株主総会ネクストラップ



ネックストラップ

株主総会ネックストラップ

また、「ECO&B」のバイオプラスチックプロダクトの中で、NTTグループで最も活用しているのがカレンダー関連の商品です。一年間、お世話になったお客様に感謝の気持ちを込めて進呈するカレンダーだからこそ、壁掛カレンダーのチューブ袋や卓上カレンダーのケース等に、植物性バイオプラスチックを使用した地球環境にやさしい「ECO&B」の商品を採用しています。（写真3）

写真3 カレンダー関連商品



カレンダーチューブ袋

卓上カレンダーケース

2010年度は壁掛カレンダーチューブ袋で25.3万枚、卓上カレンダーケースで14.8万枚に植物性バイオプラスチックを使用しており、その数をCO₂の削減量に換算すると約5.7トンのCO₂削減に貢献できたこととなります。

また、その量を森林におけるCO₂の吸着量で表すと、甲子園球場約1個分の元気な森林が一年間に吸着するCO₂の量と同じになります。

NTTネオメイトはこれからも、地球環境にやさしいECO&Bバイオプラスチックプロダクトを企画・開発・販売することにより、NTTグループ各社のCSR推進に貢献していきます。



バッテリー再生

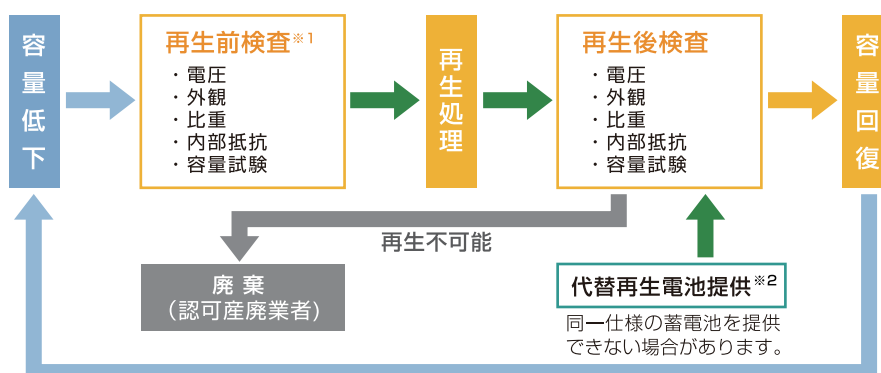
テルウェル西日本では、環境3R (Reduce、Reuse、Recycle) に「CO₂削減」をプラスした3R+CO₂のコンセプトに基づき、環境配慮型企業をめざす企業様の先進的取り組みを支援しています。この中でReduceの観点から「バッテリー再生」を本格的に取り組むため、バッテリー再生工場を設立しています。

「バッテリー再生」を推進することにより、年間4,000万個以上捨てられているバッテリーの廃棄量を削減。環境汚染や危険な電解液（希硫酸）の流出を防ぎ、循環型社会形成に貢献します。

- 【 目 的 】 産業廃棄物の抑制 (CO₂等) に貢献し、かつ経費を削減します。
- 【再生対象電池】 大型 鉛蓄電池、アルカリ蓄電池
小型 ニカド電池、ニッケル水素電池
- 【再生の流れ】 ①再生前検査を行います。
②再生が見込める場合、対象バッテリーの取り外しと代替バッテリーの取り付けを行います。
③再生前容量試験・再生処理・再生後検査を行います。検査不合格品は産業廃棄物として処理します。
④お客様設備に再生バッテリーの取り付けを行います。

劣化したバッテリーを新品同様に再生する再生フローを図に示します。

バッテリー再生作業フロー



※1 再生前検査……… 再生前診断により再生が可能か判定します。

※2 代替再生電池提供…… 仮設電池が必要な場合は提供いたします。

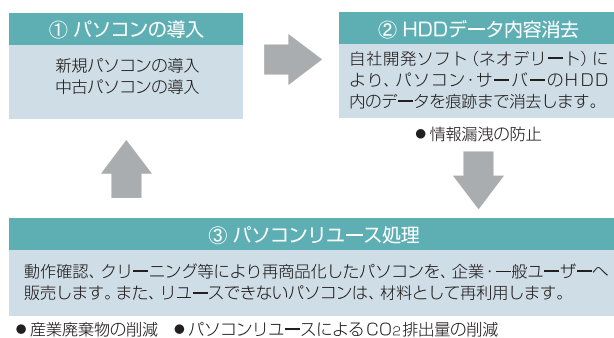


環境負荷 (CO₂ 排出) 削減に貢献する パソコンリユース、リサイクルに関する取り組み

NTTネオメイトでは、これまで培ってきたパソコンのハードディスク (HDD) 消去技術をもとに、パソコンのリユース、リサイクルの推進に貢献するとともに、NTTグループにて使用済みとなったパソコンの適切な処理を実施しています。

使用済みパソコンは、中古パソコンとして再生 (リユース) し、市場へ流通、再利用されることにより、新品パソコンの利用に比べ資源採掘から製品製造までの工程がなくなる等、環境負荷削減に大きな効果をもたらすと考えられます (図2)。しかしながら、昨年度国内での中古パソコン流通量は201万台程度とされ、年間1,456万台にも及ぶ新品パソコンの販売量に比べると、その多くは、廃棄 (資源回収含む) されているのが実態であると推定されます。

図2 パソコンリユースの流れ



使用済みパソコンを廃棄することなくリユースする為に重要なのが、個人情報や企業の機密情報漏洩を防止する確実なHDDデータの消去です。

一般に、パソコンのHDDにフォーマット処理をした程度では、専用ソフトを用いることにより容易に復元が可能である為、JEITA (社団法人電子情報技術産業協会) は、データ消去についてガイドラインを設けています。それによれば、データ消去はユーザー自身の責任において実施するものとされ、①消去ソフトによる1回以上の上書き処理 (ソフト消去)、②HDDを物理的、電磁的に破壊して読めなくする (物理消去) のいずれかによる対処を推奨しています (表1)。

表1 HDD消去方式

消去方式	概要	パソコンリユース	環境効果
ソフト消去	専用ソフトでHDD全領域に上書き	可能	新品抑制 資源活用
物理消去	電磁消去、HDDの破壊 (穴あけ等) 比較的短時間で処理可能	不可能	資源活用

環境貢献効果を高めるパソコンリユースを促進する為には、消去方法の特徴から、まず何より「ソフト消去」を推進することが大変重要であるといえます。

そこで、NTTネオメイトでは、独自のデータ消去サービス「ネオデリート」を2002年から提供しています。

また、NTTグループにて使用済みとなったパソコンについてもNTTネオメイトのパソコンセキュリティーリサイクルセンターで、HDD消去を実施した後、リユースあるいはリサイクル業者へ販売しています。

なお、情報セキュリティーの観点から、「データ未消去のパソコンを社外に持ち出したい」、「データ未消去パソコンを消去拠点まで運搬するコストを削減したい」という企業ニーズに応え、CO₂削減にも貢献できる「オンライン型ソフト消去サービス」についても、2010年度から社内にてサービスを開始し、今後社外への提供についても検討しています。

NTTネオメイトの事業実績に基づきRITEA (中古情報機器協会) により算出されたCO₂排出削減効果値を用いて、2010年度の総再生台数実績約3.2万台 (回収した約4.1万台から、マテリアルリサイクルしたものを除く) に基づく環境負荷削減効果を算出した結果、CO₂排出量換算3,916tにのぼると考えられます (図3)。

図3 2010年度のリユース実績 (再生受託含む) に基づく環境負荷削減効果



* 「RITEA 評価 CO₂ 排出量削減効果値 (第 C-001 (2010 ~ 2011) 号)」を使用

NTTネオメイトは、今後も中古パソコンのリユース・リサイクル事業を通じて、資源の有効活用、廃棄物抑制やCO₂排出削減といった環境・循環型社会へ貢献してまいります。